

湯本運送株式會社 電話三十八番

米川 湯本町

先崎集惠

磐城自治新報

發行日一月十五日(每月二回)
編輯印刷 箱崎義一
兼發行人 箱崎義一
發行所 磐城自治新報社
福島縣石城郡本町
天王崎四番地
電話四〇〇番
紙代 一部十錢送付共
廣告料五號十二字詰一行金五
十錢場所指定金壹圓

人間の横暴時代

地球上には人間以外に無数するのである。即ち此地球の動物が居る、然るに人間上を經營し而して神格を修めた、又そのでなければならぬ動物は太古其まゝである。同じく活躍することが人間に神格に近づく程神を忘れ、鏡を掛け皮囊をかへて學べば我々は此世に於て神をちになつた現代はどうか神に通過するが馬や犬は永久に知り神の道を履み而して人は絶へず手を引いた結果人間だけが神の發達して其神を無視して人事を盡すことを飛んだり潜水艇で海を他は太古其儘の動物であるとのみに專念で之れが即ち人間横暴時代を造る原因である。

抑々人間發生の最初は何の動物と異なる所がなく所謂神でないといふ考へになり科學万物論一點張で世界を方大坂では勤務中の巡査が押通さうと云ふことになつた。一體人間は人間を本位とせしめ、神佛が從屬すべきものかと思ふと制服の義務に價する。

昭和四年度である、徳島に於て正值正銘の小學校訓導の痛切なる幻滅を感せしめ、こゝには相違ない一人が二人の不良の爲めに善なる先生迄でが惡口ををあげせられる事は全く同情の教員がある従つて脱線する事になる。

同級教育界にあつても小學校の進路は特に閉塞されて居るからである。

候補者政戰準備整ふ

四ツ倉町々會議員 無産派一名出馬

石城郡四倉町の町會議員選挙、横田民彌、小港宗吉、舉は来る五月卅日執行され新妻謙、植田万次郎、吉田政友派六名、中立三名、無久大郎の諸氏、産派一名計廿名、定員十八名、新議員により町長盛、中野捨與、小港平次郎の選挙を執行せらるゝ爲め大和田安太郎、豊田盛次、結局競争が激しくなるであらう、候補者は左記廿名、長谷川寅次郎、の諸氏、民政派 金成岩次、佐藤熊無産派大衆黨高木高次氏

教員論

の如く考へ神々しき天職だと考へて居る人々に、一つは後進の運路を寒くももの頭代理佐藤徳兵衛、小頭白石義雄、佐藤貢、赤津清五、小井戸庄松、金子庄兵衛、鯨岡賢司、榎田輝雄、石川兼次、高原雄吉、北郷組頭を補佐し、或は器械具の改善鐵骨火見櫓の建設、警詰所改築及び増築、一と從て組員も又協力一致幹部を助け何れも任務の遂行に精勵他を凌駕して居る尚ほ全消防組にては春期檢閲終了後優良消防員及び後援者の表彰式を全町三箇座に於て開催、組員百五十餘名出席し來賓として町長代理比村會議員

縣下土木業者大會

若松市公會堂に開催 縣下土木業者大會は去る廿八に次ぎ五時より馬場口、清佐寛太郎、消防顧問渡邊長作、矢吹莊司、若松利惣次、村上六平、鯨岡恩道、各駐在所、本社主幹箱崎義一の諸氏出席小頭鯨岡賢司氏の

磐崎村出身の織内平八氏 二等軍醫に任官す

石城郡磐崎村織内宿氏次開辭に次ぎ組員及び後援者の男織内平八氏は去る十五日の表彰をなし、井坂粗頭の職難を知らない、併し就職官した氏は東京醫學專門學校の卒業生にして正八位三等軍醫に任官し、町長代理比佐覺太郎の祝辭受賞者總代若松徳校を首席で卒業した前途有會に移り、全町美藝連の幹旋にて非常なにはびを呈し午後五時散會した。

湯本消防組

石城郡湯本町消防組は近時著しき發展を見るに至つた事である。現組頭井坂千代松氏は拜命以來専心斯界の發展向上のため盡力され組員は石城郡湯本町消防組は近時著しき發展を見るに至つた事である。現組頭井坂千代松氏は拜命以來専心斯界の發展向上のため盡力され組員は

高野靴店 湯本上町

志賀清 請負

木村醫院 外科、産科、婦人科

四家秀行 村會議員

炭坑用木材 佐藤三平 電話四十三番

表面は平靜でも

内實はやさもさ

不言實行の前衛戦

町村會議員候補者の下準備

本郡各町村會議員の改選も来る五六の兩月に渡り執行されるが何れも表面平靜を装へ内實候補者の物色及び再起に對する前衛戦の準備その他選舉氣分が次第に濃厚になつて来たが普選による始めの選舉前に前二回の普選に依り訓練された選舉よりも尙ほ一層考慮を要することは勿論超政黨的に地方自治の確立を切望する

磐崎村議選舉情報 第二回

現し得るや否や即ち

藤原	七名
上湯長谷	六名
西郷	三名
下湯長谷	二名
下舟尾	二名
白鳥	一名
長孫	一名
岩ヶ岡	一名
馬玉	一名
計	廿四名

前號に於て、本紙が報導し上げるのもある、大に注意たる處と大差を見ない、然を要する處である、何れに漸次毛色が濃厚になりつせよ戸別訪問は出來ず、運動ある事實は争はれぬ事で、費用に制限はあり、運動員廿四名の議員、普選第一回厄介なれば如何にして候補の顔振れ如何は各自の腦裏明せんとするか、言論戦はに閃滅して、周囲の模様を最も望むべきものなるも果見てからと腹の探り合ひをして之をよく成し得るもの斯くの如くんば理想的配置やつて居る者が多しらしい幾人は疑問とせざるを得ないふべきものである、是故に誰一人として名乗りをい、五月初旬にも至らば中は村内有力量者が一致協力之揚げた者もない有様で、或々多事なるべきを思慮するに當らば左して至難の事は立候補が案外小いかも判本紙は飽く迄迅速公明に場はないが、名譽心、權利慾らぬ、そうなる選挙間際合により臨時増刊を以て之を主張する者が多い時に至り一夜造りの立候補を村民諸君に報導する覺悟は中々協調至難である、此處に一大波亂を起しである、若し村民にして現今の情況を見るに左の思はざる番狂はせを演せぬ村内の實情を察し、真に如くである、尙附言するはとも限らぬ、昔から選舉は村を憂ふもので本村の有権者總數千六百餘水物といふ、否低い方へばあるなれば、廿四名の議員票で一割余の棄権と見て一かり流れるとは限らず、逆を左の割合比例を以てせば人六十票平均となる故に普卷く怒濤となつて反對へ押最善の法策たるも、之を實通にては白鳥、長孫、岩ヶ岡、馬玉の四大字は全然當る様子である、中坪にて居る處であらう、中野徳次郎の選の見込なきもので今や小は箱崎鶴松氏、箱崎權十郎の聲を聞かぬでもない。

岡、馬玉の四大字は全然當る様子である、中坪にて居る處であらう、中野徳次郎の選の見込なきもので今や小は箱崎鶴松氏、箱崎權十郎の聲を聞かぬでもない。なる大字に基点を置かず大氏、金成仙藏氏三羽巴とな

局より村全体を目標とし只り未だ何れも決定するに有権者數に於て廣きに於て村議になるを名譽とし、情に至らず、迂餘曲折を経て金本村第一である、田場坂では先年補欠選舉の際北郷秀之助氏が斷念せば此度公認的に推される處であつたが今上なしなれば立候補するも問題になるや疑はしく、高木源八氏に結着するものであらう、寺方では瀧徳也氏先の落選で起つ様子なし瀧野木己之吉氏の聲を聞き野木己之吉氏は必ず起つこと言はしむるに立つたものではあるまいか、太田原朝治氏は如何にしても立候補の意堅く確定的と云つてよい、大井川十郎氏亦擁立されるれば敢て辭せずと言つて居るカナリ複雑に立至るやも計らるべき注目すべき点である。

此所も當選に難色ある處で、鈴木道治氏、芳賀松太郎氏の呼聲高い、然し同氏は辭退するらしいが、終には止むなく立つたものではあるまいか、太田原朝治氏は如何にしても立候補の意堅く確定的と云つてよい、大井川十郎氏亦擁立されるれば敢て辭せずと言つて居るカナリ複雑に立至るやも計らるべき注目すべき点である。

此所も當選に難色ある處で、鈴木道治氏、芳賀松太郎氏の呼聲高い、然し同氏は辭退するらしいが、終には止むなく立つたものではあるまいか、太田原朝治氏は如何にしても立候補の意堅く確定的と云つてよい、大井川十郎氏亦擁立されるれば敢て辭せずと言つて居るカナリ複雑に立至るやも計らるべき注目すべき点である。

此所も當選に難色ある處で、鈴木道治氏、芳賀松太郎氏の呼聲高い、然し同氏は辭退するらしいが、終には止むなく立つたものではあるまいか、太田原朝治氏は如何にしても立候補の意堅く確定的と云つてよい、大井川十郎氏亦擁立されるれば敢て辭せずと言つて居るカナリ複雑に立至るやも計らるべき注目すべき点である。

此所も當選に難色ある處で、鈴木道治氏、芳賀松太郎氏の呼聲高い、然し同氏は辭退するらしいが、終には止むなく立つたものではあるまいか、太田原朝治氏は如何にしても立候補の意堅く確定的と云つてよい、大井川十郎氏亦擁立されるれば敢て辭せずと言つて居るカナリ複雑に立至るやも計らるべき注目すべき点である。

此所も當選に難色ある處で、鈴木道治氏、芳賀松太郎氏の呼聲高い、然し同氏は辭退するらしいが、終には止むなく立つたものではあるまいか、太田原朝治氏は如何にしても立候補の意堅く確定的と云つてよい、大井川十郎氏亦擁立されるれば敢て辭せずと言つて居るカナリ複雑に立至るやも計らるべき注目すべき点である。

此所も當選に難色ある處で、鈴木道治氏、芳賀松太郎氏の呼聲高い、然し同氏は辭退するらしいが、終には止むなく立つたものではあるまいか、太田原朝治氏は如何にしても立候補の意堅く確定的と云つてよい、大井川十郎氏亦擁立されるれば敢て辭せずと言つて居るカナリ複雑に立至るやも計らるべき注目すべき点である。

此所も當選に難色ある處で、鈴木道治氏、芳賀松太郎氏の呼聲高い、然し同氏は辭退するらしいが、終には止むなく立つたものではあるまいか、太田原朝治氏は如何にしても立候補の意堅く確定的と云つてよい、大井川十郎氏亦擁立されるれば敢て辭せずと言つて居るカナリ複雑に立至るやも計らるべき注目すべき点である。

此所も當選に難色ある處で、鈴木道治氏、芳賀松太郎氏の呼聲高い、然し同氏は辭退するらしいが、終には止むなく立つたものではあるまいか、太田原朝治氏は如何にしても立候補の意堅く確定的と云つてよい、大井川十郎氏亦擁立されるれば敢て辭せずと言つて居るカナリ複雑に立至るやも計らるべき注目すべき点である。

此所も當選に難色ある處で、鈴木道治氏、芳賀松太郎氏の呼聲高い、然し同氏は辭退するらしいが、終には止むなく立つたものではあるまいか、太田原朝治氏は如何にしても立候補の意堅く確定的と云つてよい、大井川十郎氏亦擁立されるれば敢て辭せずと言つて居るカナリ複雑に立至るやも計らるべき注目すべき点である。

此所も當選に難色ある處で、鈴木道治氏、芳賀松太郎氏の呼聲高い、然し同氏は辭退するらしいが、終には止むなく立つたものではあるまいか、太田原朝治氏は如何にしても立候補の意堅く確定的と云つてよい、大井川十郎氏亦擁立されるれば敢て辭せずと言つて居るカナリ複雑に立至るやも計らるべき注目すべき点である。

此所も當選に難色ある處で、鈴木道治氏、芳賀松太郎氏の呼聲高い、然し同氏は辭退するらしいが、終には止むなく立つたものではあるまいか、太田原朝治氏は如何にしても立候補の意堅く確定的と云つてよい、大井川十郎氏亦擁立されるれば敢て辭せずと言つて居るカナリ複雑に立至るやも計らるべき注目すべき点である。

共同主義の金融機關僅かな掛金を纏まる資金湯本無盡をお進め致します

湯本町

本郡湯本町の町議改選は來る六月十三日施行定員十八名、三井炭礦にては白石猶蔵氏一人を擧ぐるのが真意なり、これ最も賢明なる方法である、たゞ多く出し表町は既報の通り井坂千代他と争つた處結核利する處松、若松條助、木村順平なく、たゞ村議の事情を知り圓滿に村と招調して行くのが大會社の標度たるべきであらう、飽迄この方針で進められん事を希望する。

表町は既報の通り井坂千代他と争つた處結核利する處松、若松條助、木村順平なく、たゞ村議の事情を知り圓滿に村と招調して行くのが大會社の標度たるべきであらう、飽迄この方針で進められん事を希望する。

表町は既報の通り井坂千代他と争つた處結核利する處松、若松條助、木村順平なく、たゞ村議の事情を知り圓滿に村と招調して行くのが大會社の標度たるべきであらう、飽迄この方針で進められん事を希望する。

表町は既報の通り井坂千代他と争つた處結核利する處松、若松條助、木村順平なく、たゞ村議の事情を知り圓滿に村と招調して行くのが大會社の標度たるべきであらう、飽迄この方針で進められん事を希望する。

表町は既報の通り井坂千代他と争つた處結核利する處松、若松條助、木村順平なく、たゞ村議の事情を知り圓滿に村と招調して行くのが大會社の標度たるべきであらう、飽迄この方針で進められん事を希望する。

表町は既報の通り井坂千代他と争つた處結核利する處松、若松條助、木村順平なく、たゞ村議の事情を知り圓滿に村と招調して行くのが大會社の標度たるべきであらう、飽迄この方針で進められん事を希望する。

◎關舟 現町議村上六平氏の再起に決するであらう。

◎水野谷 現町議矢吹在司坂本文治両氏の内より決するらしい。

◎入山 現町議吉田大貫の両氏勇退、鯨岡憲道氏松繁在一の両氏は再立確実と見られ、新たに

候補者の顔振れ

入遠野村

石城郡入遠野村には來六月十一日村會議員の改選を施行されるが各大字の顔振れ如何により競争が烈しくなるであろう。

◎大字上根本折笠惣太氏再選有力なるも氏に其意思下の野崎又次郎、折笠市郎の兩氏の内より出馬するらしい。

◎大館眞一折笠竹次郎圓通政直、根本康雄の諸氏數田己之吉、上遠野眞雄、櫛へららるも決定するに至らず。

◎現議員高木菊松氏再選説ありも新たに折笠繁信、折笠吉田林之介、上遠野松太郎の兩氏出馬するらしいことである。

そろく頭をあけた

教育と人格

世の中が進むにつれ、権利が大きくなり、従つて義務も重くなるべきだが、権利より主張して義務はさつぱり念頭になくなる。世は實際浮華輕兆に流れる、頃來之が教育界にも及んで居る傾向がある、教員も普通の人間である、給料は授業の報酬である、酒も呑め女も買ひ何の憚かる處があるかなんといふ連中があるに至つては實に寒心に堪えない識者の憂ふる處である、別けて義務教育は最も國家に對し重大影響のあるものである、夫を只授業の請け賣りをして事足りりとするに至つては沙汰の限である彼等は只教壇に立つ時斗り洋服を着袴をつけるのでは何の役に立たない、苟も人の師養となるには常に畏敬を受ける人格が必要である、いかゞはしい行爲をなし、卑しい言辭を弄し恥に様の者は到底、兒童の敬服する處なるを得ない、普通の人間として生きたい者は教員となる資格がないのだ、恩給も與へ特之を優待する必要がなくなる。完

川柳たより

左ノ拔萃ハ淺井欽堂氏ヨリ小生寄ラレタルヲ轉稿ス

秦 獅子郎
隨筆集萃に就て 欽堂

遷生頃日暇なる毎に各種の

文墨の名家

昭和三十七年八月初八
文化三年七十八歳
山東京山著

天明年中、歴々たる名家儒子、曲山、詩は西野(市川小左衛門、米庵の父)和歌は干蔭、青海、書家は親和、東江、其筆、淳信、畫家は宋紫石(唐書)浮世畫ニ北尾重政(書もよし) 勝川春章角力に谷風、小野川、遊女に花扇、瀧川、俳優に團十郎(五代目、白猿)中村仲藏狂歌師に四方赤良(後ニ獨彌大屋裏住、鹿津部眞顔宿屋飯盛、錢屋金持、右いづれも己(京山)十五六才の時窓をひらき、内に小石を敷見聞の名家連なり文墨の人々は、亡兄(京傳)の友なりし故、余も又近づきにて容貌今猶目にあり

某校長に與ふ

教育費は村費の大部分を占めて居る、吾人は子弟の教育を村及學校當局に一任し置く、處が代用教員なる前期繰越金の、中に授業中問題を生當期繰越金を開いて勉強して居るものがある、是では到底完全な貸借對照表ノ資産ノ部ト同

貸付金利息	一、五〇〇、八二〇	借入金利息	三三、六八〇
雑収入	七、五九〇	借入金利息	四〇八、八五〇
差引當期純益金	七五、六七〇	借入金利息	七三、三三〇
前期繰越金	四〇〇、五七〇	借入金利息	七三、三三〇
合計	一、一七、四四〇	借入金利息	七三、三三〇
利益金處分案		借入金利息	七三、三三〇
法定積立金	五、〇〇〇	借入金利息	七三、三三〇
別途積立金	五、〇〇〇	借入金利息	七三、三三〇
株主配當金	六〇、〇〇〇	借入金利息	七三、三三〇
役員賞與金	五、〇〇〇	借入金利息	七三、三三〇
後期繰越金	四、〇〇〇	借入金利息	七三、三三〇
合計	一、一七、四四〇	借入金利息	七三、三三〇

昭和三年度下半年 第十四回營業報告書

借借對照表

昭和四年三月三十一日現在

久田克位 取締役社長

酒井秀行 常務取締役

大平増藏 岡部良作 四家秀吉 磯上忠太郎 佐藤八郎 鈴木道治 湯本町 鈴木金三郎 電話十三番 新萬樓 若松幸藏

◆良品廉賣に勝る商略なし

磐城セメント會社特約店

和洋銅鐵 釜屋商店

確實敏捷は釜屋の生命なり

醬油味噌鯉節

醬油 釀造元

山崎合名會社

營業部 電話一〇番

工場 電話二七番

酒類罐詰食料品

花

大平酒造店

電話五十七番

井

都

赤津一造 電話三番

逸郷

磐城小名濱

清世界吉清水屋

小野普平 電話六番

洋服の御用なら!!

平町の正札堂洋服店

安價で工合のよいことが定評

塩屋吳服店

電話五十八番

打綿製造所

品川白煉瓦株式湯本支工場

州川愛造

内科 小兒科 (院長毎日診療)

副院長 醫學博士 難波 陸

内科部長 中西 林藏

外科部長 整形外科 藤田 重次

産婦人科 醫學士 柱家 憲次

顧問 醫學博士 川添 正道

本院醫學士 岡 蕃

本院醫學士 賀澤 忠治

本院醫學士 難波 睦

御大典事業トシテ

衛生試験所 (共濟病院内)

病氣相談所 (共濟病院内)

救療所 (共濟病院内)

入院自炊ノ便アリ

看護婦見習募集

磐崎村役場

村長 酒井 嘉藏

助役 酒井 賢吾

役人 佐藤 八郎

書記 白鳥 宏弑

全 吉田 正次

全 久保木 丈介

全 佐藤 菊松

全 中野 常助

永井吳服店

小野材木店

根本富彌

旅館料理屋

磐城行組合

湯本温泉

湯本藝妓屋組合

若松條助

森吳服店

木村德三郎

職員俱樂部

石川屋

喜樂屋

春木屋

吉田屋

西本田屋

馬上誠一

三宅富助

鈴木市郎

佐藤清三郎

栗原森之助

三井礦山湯本鑛業所

入山探炭會社坑務所

赤津清五郎

小井戸庄松

若松忠兵衛

楠正隆

荒物雜貨砂糖各種

吉田恭平商店

奧山履物店

湯本三業組合

山崎武賴

湯本保險組合

三井炭礦警務係

鈴木市郎

佐藤清三郎

栗原森之助

三井礦山湯本鑛業所

入山探炭會社坑務所

赤津清五郎

小井戸庄松

若松忠兵衛

楠正隆

湯本郵便局長

植田郵便局長

馬場郵便局長

勝行院

町會議員

人事紹介業

湯本運送株式會社 米川繁 人事紹介業 先崎集惠